

りっとう 再発見 ⑮

青銅のリング、弥生の分銅か 下鈎遺跡 弥生時代（二世紀後半）

岡出土文化財センター

☎ 553-3359 FAX 553-3514

環境権をのせた天秤で重さを測る
推定図



弥生時代の集落跡で知られる下鈎遺跡では、1999年に弥生時代の川跡が発掘調査されました。このとき出土した多くの遺物の一つに青銅製のリングがありました。

青銅製のリングには銅釧と呼ばれる腕輪がありますが、銅釧はどれも直径が5から8センチ程度であるのに対し、このリングは直径が12.7センチもあり、これまで20年近く、用途不明品として「銅環」と仮称されてきました。

このたびこの銅環について、「環権」といわれる天秤権（分銅）である可能性が高いことが分かりました。

弥生時代の分銅としては、大集落で知られる大阪府亀井遺跡や池上曽根遺跡、守山市の下之郷遺跡などで円柱状の石製品が確認されていますが、青銅の環権はこれまで国内では発見されておらず、初めての事例となりました。

中国や韓国では墳墓に副葬され、天秤とともに出土する事例があります。また、下鈎遺跡では、中国の前漢鏡が出土しているの、大陸との交流の中で、計量技術とともにたらされたと考えられます。

そして、全国各地から運ばれた土器が発見されているように、広い範囲の交易が行われていたようです。また、鋳型や銅カスなども出土しており、青銅器生産を行っていたことがわかっていきます。

さらには水銀朱生産に使われる石杵3点が発見されていることから、環権の用途としては、青銅器生産に伴う原料の計量や、貴重な交易品である朱の計量に用いられたと推定されます。

いずれも下鈎遺跡出土

銅釧・直径5cm

環権・直径12.7cm



《大宝東小学校》自然な「つながり」を大切に！

岡学校教育課

☎ 551-0130 FAX 551-0149



大宝東小学校では、教職員と子どもたちが「つながり」を意識した取り組みをしています。その一つとして、ペア学級での「つながりそうじ」があります。1年生と6年生、2年生と5年生、3年生と4年生をペア学年とし、ペア学級の子どもたちが同じ場所の掃除をします。上学年が掃除の仕方を下学年に優しく教える姿や下学年が一生懸命掃除する姿が見られます。

また、遊びをとおしてつながりを深める「ペア交流」にも取り組んでいます。最近、休み時間に異学年で遊ぶ子どもたちを数多く見かけるようになりました。これからも、子どもたちと一緒に、つながりを大切にした学校づくりに取り組んでいきたいと思えます。

よりよく生活するための12か条 ⑮



うれしいよ きみがいてくれて ありがとう

～平成30年度人権啓発作品 標語の部 佳作作品～